

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	上級簿記		
担当者(Instructors)	井川 源太郎	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
企業活動を帳簿に記録して報告書に作成することを簿記といいます。特に商品販売業やサービス業で行われる簿記のことを商業簿記と呼びます。この授業では、簿記Ⅰ・簿記Ⅱをマスターしたことを前提とし、日商簿記検定3級以上の受験を目指した上級商業簿記の内容を学習します。

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	この授業は講義形式で進めるが、より理解を深めるためにワークブック等の練習・検定問題に取り組む時間を設けます。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	簿記の基礎	簿記の基礎を復習する。	☐
第2回	仕訳（１）	現金預金取引を理解する。	☐
第3回	仕訳（２）	有価証券取引を理解する。	☐
第4回	仕訳（３）	債権債務取引を理解する。	☐
第5回	仕訳（４）	手形取引を理解する。	☐
第6回	仕訳（５）	引当金取引を理解する。	☐
第7回	仕訳（６）	商品売買取引を理解する。	☐
第8回	仕訳（７）	固定資産取引を理解する。	☐
第9回	試算表（１）	試算表の仕組みを理解する。	☐
第10回	試算表（２）	試算表の作成方法を理解する。	☐
第11回	試算表（３）	試算表の作成方法を完全に理解する。	☐
第12回	精算表（１）	精算表の仕組みを理解する。	☐
第13回	精算表（２）	精算表の作成方法を理解する。	☐
第14回	精算表（３）	精算表の作成方法を完全に理解する。	☐
第15回	まとめ	学習内容を振り返り総括する。	☐

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
授業内容を取得するために、十分な事前事後学習を必要とする。事前学習としてテキスト・参考図書の該当箇所を事前に予習をし（２時間程度）、事後学習としてワークブック等で学習内容を復習する（２時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
提出された課題（レポート等）がある場合には、原則、添削の上で返却します。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019地域ビジネスDP2	上級簿記の内容を学び、企業会計の原理原則が習得できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			40%	60%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 課題の理解度、提出期限など。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	段階式 日商簿記ワークブック 3級商業簿記〔6訂版〕 加古宜士・穂山幹夫監修 税務経理協会	978-4-419-07013-7
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	入門簿記テキスト 伊藤秀俊編著 税中央経済社	
2		
3		
4		
5		